

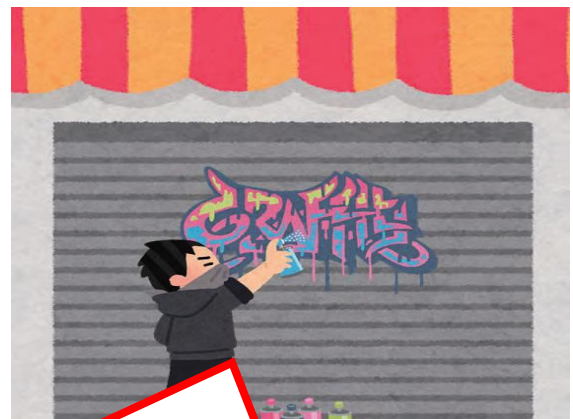
⑤ ホットスポットの具体例



●住宅街など

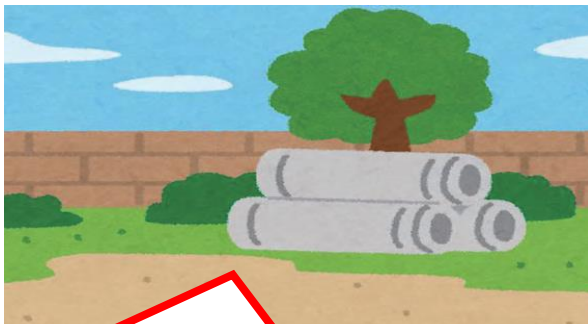


塀が高い家が並んでいる道は、住民たちからの視線が家の外まで行き届かず、犯罪者にとって犯罪をしやすい場所となる可能性があります。
※物理的に「見えにくい場所」



落書きが多い場所は「住民たちの関心が薄く管理されていない場所」と認識され、犯罪をしやすい場所となる可能性があります。
※心理的に「見えにくい場所」

●空地



空き地がロープなどで囲まれていなければ入りやすくなり、周囲に家が少ないと見えにくくなり、犯罪をしやすい場所（窃盗団の作戦本部や子ども連れ込みなど）となる可能性があります。
※物理的に「入りやすく・見えにくい場所」

●公園



誰でも利用できる公園であれば、入りやすくなり、公園内から周囲の家の窓が見えないと見えにくくなり、犯罪をしやすい場所となる可能性があります。
※物理的に「入りやすく・見えにくい場所」

●人通りが多い場所でも



人通りの多い駅やショッピングセンターなどは、一人一人の関心が分散するため、犯罪や子どもへの声かけ事案が気づかれない可能性があります。
※心理的に「見えにくい場所」